

## 会 議 議 事 録

1	会議名	令和7年度 第2回長岡市スポーツ推進審議会
2	開催日時	令和8年3月19日（木）10：00～12：00
3	開催場所	さいわいプラザ4階 教育委員会会議室
4	出席者名	<p>委員：8名                      中川信行委員長、田村万里子副委員長、浅間光一委員、五十嵐洋美委員、野口富枝委員、三上徹人委員、石坂陽之介委員、島田泰維委員</p> <p>長岡市スポーツ協会（オブザーバー）：2名                      権沢常務理事兼事務局長、室賀事務局次長</p> <p>長岡市：7名                      小池市民協働推進部長、中山スポーツ振興課長、佐藤課長補佐、渡辺係長、菊地係長、鷲尾係長、豊田職員</p>
5	欠席者名	4名（中村真衣委員、針谷美智子委員、平原哲雄委員、原田一委員）
6	議題	<p>1 第2期長岡市スポーツ推進計画の進捗評価について（協議）</p> <p>2 （1）次期長岡市スポーツ推進計画策定委員等の体制について（報告）                      （2）令和8年度主要事業の概要について（報告）</p> <p>3 その他</p>
7	審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題1について、各委員から意見が出された。協議内容を踏まえて事務局で今後の展開を検討することになった。</li> <li>・ 報告事項を資料に基づき説明した。</li> </ul>
8	審議の内容	

委員長	これより議題の審議を行います。
(議題)	第2期長岡市スポーツ推進計画の進捗評価について(事務局説明)
委員長	進捗状況について、例えば「育てる」スポーツの推進と「する」スポーツがCで未達という評価になり、事務局の分析によれば令和4年度までの実績値を見ると目標値に近づいているものの、令和7年度になると実績値が大幅に下がり、かけ離れている。この数年の間に急激に数値が下がっているのは、当初の目標値が高すぎて到達が困難という見解になるか。
事務局	まず指標の項目についてですが、例年スポーツ庁が実施している調査の結果なので、具体的な理由については把握はしづらい。ただ、長岡市に限らず全国的な傾向だと思っている。
〇〇委員	要因分析として「人と比べられるのが嫌」、「足を引っ張る不安」とあるが、どう解釈するのか。
事務局	全てに必ずしも当てはまるわけではないが、少なくとも心理的なところがある程度影響しているのでは。
〇〇委員	そうした心理的な要因をどのように評価するのか。中学校のスポーツで土日に活動したくないというアンケート結果の理由として「寝ていたい」という回答があった。その結果を肯定的に受け止めて議論していること自体がどうかと思う。
事務局	補足すると計画期間の中で最も影響が大きかったのは、新型コロナウイルスの感染拡大。10年計画の5年経過時における中間見直しで市民3,000人無作為抽出をして実施した結果、活動の主体が個人となってきている傾向が顕著になった。集団、密にならないという感染拡大下の影響を受け、活動も個人志向が高まった可能性があると考えている。中間見直しを踏まえて今年度前回とは異なる3,000人へアンケートを実施したが、「する」スポーツの現状値は低かった。この数字の乖離について分析していかなければならない。この結果を意識して、個人に主体が移るスポーツ振興をしてきたが、その効果については、

<p>〇〇委員</p>	<p>より細かな総括が必要。</p> <p>例えばスポーツする上での不安を和らげてくれるのは友達であったり、環境。学校や地域などその環境作りをどうするかという取組みになるのでは。この状態はよくないということで議論をしないとイケない。クラブに対する親のクレームが指導者や子どもに与える影響、こういうものがCome100クラブの指導者のモチベーションにも繋がる気がしている。この議論が時に逆効果になるのではと危惧している。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>私の立場上「育てる」スポーツが気になる。課題と方向性については重要だと思う一方、学校体育以外で1週間に60分以上運動するというのは、おそらく習い事としてスポーツをしているかどうかになる。小学生になると本人たちというのもあるが、どちらかという親御さんの課題になってくる。経済的な部分と、より大きいのは送迎の部分なのでは。私のサッカークラブは週1回活動をしており、ここでサッカーを好きになって少年団に入るといった報告もいただく。親御さんからはある種の覚悟を持って頑張る、つまり少年団に入る事によって経済的、送迎などの親の負担も大きくなるという部分を子どもが頑張りたいというのなら覚悟して頑張る、という話を聞く事があった。こういう事に対する対応は必要、あるいは有効ではないか。特に雪国なので、自分で通うというのが学校部活動以外になると難しい面もあるので、この課題についても認識があると良い。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>今の〇〇委員の話に関連するが、自分も子どもを少年団のバスケットボールチームに通わせている。そこにいると色々な世代の方の情報が入ってくるが、今問題になっているのがCome100クラブの事。学校の部活動であれば、正常に稼働できたであろうものがいろいろな問題として出てきていると思う。一番大きいのはやはり保護者の負担がものすごく大きくなっている事。学校の先生がやっていたことを新しい指導者、外部コーチが担う。その人達も他に仕事をしておられるので、出来ないことが多々ある。その出来ない部分が保護者にくるので、結局覚悟が必要な親御さんがたくさんいらっしゃる。実際やってみるとすごく大変で、そういったことが敬遠されている要因</p>

	<p>なのではないか。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>地域移行や Come100クラブなどのプラットフォームづくりが脆弱なのは。総合型へのアプローチはないし、実際自分達で考えてやっていることは多い。Come100ばかりではなく、違ったプラットフォームがあってもおかしくない。部活動地域移行の全体構想でスポーツをする活動場所について三層に分けるというのがあったと思うが、その対策が全くない。Come100の中で、ただ集まって楽しもうというものはあるのか。</p>
<p>スポーツ協会事務局次長</p>	<p>既存の部活をベースに、地域展開をしている。国の制度もあって、Come100に入らないと全国中学校体育連盟の大会に出られないという仕組みになってきているので、今までの部活と同じように競技志向寄りになりつつある。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>基本的にそうなると思う。誰が考えても。</p>
<p>スポーツ協会事務局次長</p>	<p>Come100の中にもう少し遊び要素がある、ライト層が楽しめる受け皿があったらいいなという声はある。種目の選択肢は増えたが、関わりの選択肢が増えていないのが現状。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>だからアーバンスポーツ、eスポーツ、ユニバーサルスポーツ、そういうのをまとめるのは総合型が典型的だと思う。それに対して補助金が一切ないし、アプローチもない。お金の話はしたくないが、モチベーションが下がることばかりある。運動が出来ない、嫌いな子ども達への対策は、ローカルで言えば7割も8割もあるはず。それに対して全然目が向けられていない。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>似たような話になるが、部活動地域移行で家計、家族への負担、特にお金の部分で部活動に比べて約3倍かかると言われている。やはり金額的な部分で、やりたくてもできないお子さんが増えて、それによりスポーツをする体験格差が生じてしまう。推進計画の全体評価の中にスポーツに関心がある方が7割近くというものがあるが、やりたくてもできないという格差が生まれてきてしまうと、長岡市全体の底上げをしたいとなった時にうまくいかないと思う。スポーツが出来る機会を増やし、お金の部分もあるので具体的な考えや取組みなど頑張ってい</p>

<p>〇〇委員</p>	<p>ただきたいと思う。</p> <p>コロナ禍や物価高などで家計が苦しくなってくると、習い事など子どもにやらせてあげたくてもできない。子ども達にとって選択肢がないのは、かわいそう。それが学校の部活であれば、家庭的にも送迎にしても普通にできていた。地域移行によって出てきた課題だと思う。評価の数字を見て議論するより、どう解決するのかが大事。数字だけではないと思う。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>自分の娘もテニスをしていたが、送迎はもちろん、金銭的にもすごく負担があって、これだけかかる部活はあるのかと思っていた。今、地域移行になって子どもが部活をやりたくても親のことを考えて辞めるという生徒がいるという現状だけは、市で考えてもらいたい。保護者の負担でいえば、送迎だけでなく見守りもある。親が大変なのを子どもたちは見ている。部活のできない子どもをそのままにしておかないでほしい。</p>
<p>副委員長</p>	<p>子どもが5人いるお母さんに話をきくと、子ども毎に送迎があり、それだけでも大変と聞く。また、私自身も小学生対象の陸上クラブで指導をしているが、4月から中学生も受け入れると決めた。しかし、今までのクラブでやりたいが、Come100に入らないと大会へ出られないので、クラブとCome100両方に金銭的負担がかかるということになる。こういう形でしか私達も応援できない。すでに何名か入りたいと聞いている。</p>
<p>委員長</p>	<p>現行計画の全体評価の中で、少子高齢化の進展、スポーツに対する志向の多様化、中学校部活動の地域展開などスポーツを取り巻く環境が大きく変化している状況を踏まえてと書いてある。まさに皆さんの声がここにつまっているのではないかと思う。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>話は変わるが、以前 Come100のアンケートを取った中で、入らない理由の内訳で送迎問題は5番目くらいだということを聞いた。順位がどうこうではなく、深刻度で考えるとやはり行政が考えないといけない。経済的問題や送迎問題など、今までなかったものが致命的になる。</p>

事務局	<p>「する」スポーツに論点をすり替えたわけではないが、生涯にわたってスポーツをする環境は子どもの頃、最初に関わるころが一番影響がある。学校部活動からいずれは完全に地域へ、学校から部活動の概念がなくなるので、スポーツ少年団、小学校、中学校のジュニアのところの環境をどう整えていくかというのは、難しいところ。「ささえる」項目もあるが、今まで目が向けられていなかった状況があるので、行政だけでなく地域の関係する団体との体制づくりが課題。</p>
〇〇委員	<p>最初に戻るが、あのアンケート結果を認めたらどうなるんだろう。自分達で考えてみても、小学校中学校でのスポーツの経験というのは7割8割あると思う。</p>
事務局	<p>個性の時代、個性を大事にするという風潮は止められない。ただ、一方で人口減少、人間関係が希薄になってきている部分でいろいろな問題が生じてきていると思う。協働していく中では、人との関わりは絶対に避けられない。人間関係で苦勞する部分というのは出てくるが、それを乗り越えないといけないという上でもスポーツは大事だと思う。個々のスポーツも大事だが、競技スポーツで上を目指していくという経験も大事。今、中学校部活動移行も学校で行っていた教育的意義を地域に引き継ぐということでやっているが、大会にどうするのか、大人の理論で整理が過渡期についていない状況。長岡市は子ども若者の権利条例というものを作った。誰一人取り残さず子ども達が夢や希望を持って生活できるようにという趣旨のもの。全てが万能ではないが、私達はそこを目指してやっついていかないといけない。ただ国として制度や仕組みを変えないと動けない部分があったり、長岡市独自で現行の枠組みの中でどれだけ智恵を絞って子供をスポーツが出来る環境を整えていくか親に負担を与えないで済むか、今両輪でやっついていかないといけない。皆様から今日いただいた親御さんの苦勞の話もきちんと踏まえて、いろいろ改善していきたい。</p>
委員長	<p>第3期長岡市スポーツ推進計画の策定について、他にご意見はないでしょうか。  (意見なし)  本日の協議内容を踏まえて、事務局で今後の展開を検討して</p>

<p>(議題)</p>	<p>ほしい。</p> <p>(1) 次期長岡市スポーツ推進計画策定検討委員等の体制について (報告) (事務局説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>(1) 次期長岡市スポーツ推進計画策定検討委員等の体制について、他にご意見はないでしょうか。 (意見なし) では、次の報告事項になります。</p>
<p>(議題)</p>	<p>(2) 令和8年度予算化に向けた主な事業について (報告) (事務局説明)</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>設備に直接関係ないが、体育館予約の空き状況のネットワークづくりは出来るのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今長岡地域を中心とした体育館にしか入っていない公共施設予約システム、今使ってるシステムがまもなく主要の契約を終え、新しいシステムの選定を6月ぐらいにする予定になっている。早ければ令和9年2月に稼働する予定。基本的には支所地域の体育施設についても、空き状況の確認と予約等をシステムでできるように導入していく予定となっている。</p>
<p>事務局</p>	<p>既に報道されているのでご存じかもしれないが、スポーツ施設に限らず、これからの人口減少を踏まえて公共施設の適正配置、最適化については他の施設と同様に進めていかなければならない。スポーツ施設が106ある中で全てを維持していくのは難しく、安全を確保しながら維持適正化が必要。まず5年間で公共施設の適正化に向けた動きをすることになると思うので、ソフトの振興を図る意味でのハード整備を考えることが課題。時期をみながら説明して、ご意見いただきながら進めたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>(2) 令和8年度主要事業の概要について、他にご意見はないでしょうか。</p>

